

10周年記念特別企画
東京都写真美術館コレクション展
 10th Anniversary Commemorative Exhibition
 The Collection of the Tokyo Metropolitan Museum of Photography

How Photography Changed People's Viewpoint
2. CREATION
 Creation - Encounters with Painting and the Subsequent Separation
 Reversion - Photographic Eye

東京都写真美術館
 東京都目黒区三田1-13-3 (恵比寿ガーデンプレイス内)
 TEL: 03-3280-0099 <http://www.syabi.com>



2005年5月28日[土]～7月18日[月・祝]

10:00—18:00 (木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで

会場：東京都写真美術館 3階展示室
 主催：東京都・東京都写真美術館
 協賛：フォト・ギャラリー・インターナショナル
 東京都写真美術館開館10周年特別協賛：キヤノン株式会社/サッポロホールディングス株式会社/株式会社資生堂/株式会社写真弘社/ソニー株式会社/大日本印刷株式会社/凸版印刷株式会社/株式会社日本発色/富士フィルムイメージング株式会社/株式会社リコー (50音順)
 休館日 毎週月曜日 (ただし、7月18日(月・祝)は開館)
 一般：500(400)円/学生：400(320)円/中高生・65歳以上：250(200)円
 ※ ()内は20名以上の団体料金 ※ 東京都写真美術館友の会会員は無料
 本展覧会のチケットをお持ちになれば、第3部以降の展覧会を割引料金にてご覧いただけます。

写真はものの見方を どのように変えてきたか

2 | 創造 |

創造 — 絵画との出会いと別離
 回帰 — 写真の眼



ピーター・ヘンリー・エマーソン 『ノーフォーク・ブロードスの生活と風景』より 沼地からの帰路 1866年 EMERSON, Peter Henry "Life and Landscape on the Norfolk Broads" Coming Home from the Marshes

写真はものの見方を どのように変えてきたか

2 | 創造 |

創造 — 絵画との出会いと別離
 回帰 — 写真の眼



平井理七 月の夢想 1938年 HIRAI, Terushichi Fantasies of the Moon



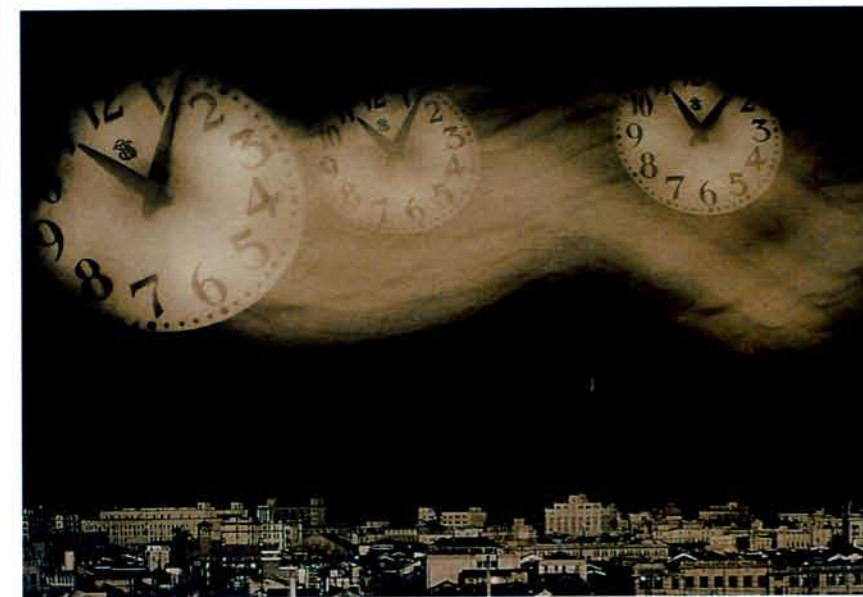
福原祐華 はるな、天神峠 1939年頃 FUKUHARA, Roso Haruna, Tenjin Pass



ジャン・ウジェーヌ・オーギュスト・アジェ 日食 1911年 ATGET, Jean Eugene Auguste Solar Eclipse

◆フロアレクチャー (鑑賞券をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。) 会期中、毎月第2、第4金曜日午後4時より担当学芸員による展示解説を行います。
 ◆ワークショップ「古典技法(ブロムオイル)」(有料・事前申し込み制) (日時) Aコース 7月2日(土) Bコース 7月3日(日) ※各コース10:30~17:00 (料金) 8000円(材料費込み) (講師) 香川久士(写真家)
 ◎会期中、その他にも関連イベントを開催します。詳しくは<http://www.syabi.com>をごらんください。

順次開催予定
 3 [再生] 2005年7月23日[土] ~9月11日[日]
 4 [混沌] 2005年9月17日[土] ~11月6日[日]



小石清 泥酔夢・疲労感 1938年 KOISHI, Kiyoshi Drunken Dream, Fatigue

ライト兄弟が初めて飛行機で空を飛んだころ、人びとはどこにカメラのレンズをむけたのだろうか。

今からおよそ160年前、「記憶をもった鏡」と呼ばれ、人々に驚きを持って迎えられた写真が、一方で「芸術」の地位を獲得するには多くの論争がありました。写真にとっての芸術性とは何なのか、さまざまな人が模索していた時代でした。第2部では写真がその独自の「芸術」と「表現」をどのように発展させていったか、社会状況や思想、技術の発達などさまざまな要素を含みながら、百花繚乱の作品が生まれた19世紀末から1930年代頃までの写真表現の変遷でとっていきます。

創造 — 絵画との出会いと別離

写真の登場により、画家たちは写真に多くの影響をうけます。その一方で絵画の影響を受けたビクトリアリズム(絵画主義)を標榜する写真も多く出現します。絵画と写真がどのようにお互いに影響をうけていったか、そしてその中から写真独自の表現を模索していった様子をフランス、イギリスを中心としたヨーロッパ、アメリカ、日本の写真家の作品によって展開します。

回帰 — 写真の眼

写真は社会状況の変化や都市の近代化に影響を受け、一方で思想や哲学などが写真本来の機能や役割を捉え直すきっかけを与え、その表現が変化していきます。また技術や科学の発達によるクローズアップや赤外線写真などはカメラのレンズが人の眼ではなく、機械の眼であることを人々に否応なしに意識させました。ドイツ、フランスを中心としたヨーロッパ、アメリカ、日本の写真の中から、変わりゆく都市をストレートに撮った表現、パウハウスやシュルレアリスムなど同時代の美術に影響をうけた表現、新しい技術を利用した表現など多彩な作品を紹介します。



会場 東京都写真美術館 3階展示室
 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 (恵比寿ガーデンプレイス内)
 電話：03-3280-0099 <http://www.syabi.com>

〈交通機関〉
 JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。
 当館には専用の駐車場がございません。お車での来館はご遠慮ください。